

広域処理に係る災害廃棄物の人体・自然環境に与える影響について

1. 放射線量の基準値

(1) ICRP (国際放射線防護委員会) 2007年勧告

- ① 1ミリSv/年 一般公衆の線量限度 ※医療、自然放射線を除く平常時の基準
- ② 20ミリSv/年 放射線業務従事者の線量限度
※5年間の平均。1年間で最大50ミリSvを超えないこと

【参考】

- ・世界の平均1人当たりの自然放射線量 2. 4ミリSv/年
- ・日本の平均1人当たりの自然放射線量 1. 48ミリSv/年
 - ・大気中のラドン等 0. 59
 - ・大地から 0. 38
 - ・宇宙から 0. 29
 - ・食品から 0. 22

(2) 原子炉等規制法に基づくクリアランス基準・・・廃棄物を安全に再利用できる基準

100ベクレル/kg 以下

(3) 食品衛生法に基づく食品中の放射性物質の基準値

- ①放射性物質（セシウム、ストロンチウム等）を含む食品からの被曝線量の上限 1ミリSv/年
- ②放射性セシウムの基準値
- ・ 一般食品 100ベクレル/kg
 - ・ 乳児用食品、牛乳 50ベクレル/kg
 - ・ 飲料水 10ベクレル/kg

(4) 放射性物質汚染対処特措法に基づく基準

- ・ 事故由来放射性物質（セシウム134及びセシウム137）によって汚染された物のうち廃棄物処理法の適用となる基準 8000ベクレル/kg以下

(5) 東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理に関する基準等（環境省告示）

- ①焼却灰等の放射能濃度（セシウム134及びセシウム137の合計） 8000ベクレル/kgを下回ること
- ②受け入れる災害廃棄物の平均的な放射能濃度 240ベクレル/kg以下を目安とする
(流動床式焼却設備の場合 480ベクレル/kg)
- ③再生利用した製品（市場流通する前で）の平均的な放射能濃度 100ベクレル/kg以下
- ④焼却等を行わず埋立処分を行う場合の受け入れる災害廃棄物の平均的な放射能濃度
8000ベクレル/kgを下回ること

◎国の8000ベクレル／年以下の考え方

- ①処理に伴って周辺住民、作業員の受ける線量が1ミリSv／年以下
- ②最終処分場の管理期間終了後の一般公衆の受ける線量が0.01ミリSv／年以下
※処分場の跡地では居住しないなどの利用制限

(6) 地方公共団体の災害廃棄物の広域処理に係る独自基準

①受け入れる災害廃棄物の放射能濃度（セシウム134及びセシウム137の合計）【国：240～480ベクレル／kg以下】

- ・100ベクレル／kg以下 …… 北海道、青森県八戸市、秋田県、群馬県、埼玉県、神奈川県、新潟県新潟市・長岡市・柏崎市・三条市・新発田市、富山県、三重県、大阪府、兵庫県尼崎市、関西広域連合、大分県
- ・200ベクレル／kg以下 …… 山形県
- ・現在処理している一般ごみと同レベル …… 静岡県島田市

②焼却灰等の埋立処分を行う場合の災害廃棄物の放射能濃度 【国：8000ベクレル／kgを下回る】

- ・100ベクレル／kg以下 …… 兵庫県尼崎市
- ・2000ベクレル／kg以下 …… 大阪府、関西広域連合

2 放射能に対する住民の懸念について ～これまで市に寄せられた意見より～

(1) 外部被爆について

- ・ 運搬、保管、埋立時に、がれき又は焼却灰からの被爆
- ・ 焼却施設、埋立施設の周辺住民や作業員の被爆

(2) 内部被爆について

- ・ 焼却時に大気中に排出されたセシウムの吸引により被爆
- ・ 最終処分場から水に溶け出し、地下水、土壌、田畑、河川を汚染し、吸引・経口により被爆
- ・ がんや心筋梗塞が増大する（チェルノブイリの経験から）
- ・ 昨年から今年にかけて若年層の間でも、心筋梗塞や突然死、心肺停止によって亡くなる方が急速に増えている

(3) その他

- ・ 放射能汚染は、空間線量計では測定できない、総量が問題である
- ・ 放射性物質は、何万年も放射線を出し続け、人体に悪影響を与える
- ・ セシウム以外のヨウ素、ストロンチウム、プルトニウム等の毒性を無視している
- ・ がれきに付着している、アスベスト、ダイオキシン、六価クロム、PCB、ヒ素、水銀等が混在している
- ・ 廃棄物処理施設では、放射性廃棄物を適切に処理できない
(バグフィルター、浸出液処理施設、最終処分場における管理など)

3 「受入れ可能ながれき」とは

- (1) 放射性物質が検出されない災害廃棄物
- (2) 放射線による被爆を全く考慮する必要のない災害廃棄物
- (3) 適切な処理・処分・管理を行えば、被爆の恐れがない災害廃棄物

- ・科学的根拠に基づき、人体や自然環境への安全性が確保されること
- ・市民が安心して受け入れることができること

を前提に、金沢市の特性に応じた基準の設定が必要